
虚飾虚栄者は独よがりのうつけ者と契約しました

天馬 龍星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

虚飾虚栄者は独よがりのうつけ者と契約しました

【Nコード】

N3035Z

【作者名】

天馬 龍星

【あらすじ】

二〇三六年、世界は多く変わっていた。日本の首都は東京から大阪へ、頭脳は筑波になり、東京は日本から隔絶された。墮ち神を閉じ込めるために萌え文化が栄え、統一教会東京大学が創立された。東京は七区に分け割れた。

狭間区第一高等学校に通う、高校三年生の天海翼は自己中心的で人の話をまったく聞かない上に、いつも傍若無人な物言いで相手を困らせている問題児で、オタクで幼女好きで魔法少女を愛している、救いようのない変態だ。そして火竜焰は法律で禁止された科学

を扱うマッドサイエンティストで天海翼と同じくらい危険な存在だ。一二月二四日、天海翼は秋葉原に姿を現し、一人の少女と出会ってしまった。その出会いは必然だったのかもしれない。彼女の出会いが天海翼の運命を大きく変えることになる。彼女は兵器で名をスピカといい、男性の血液を摂取することで、いかなるものでも創造することができる。しかも、最近この東京で流行っている萌えアニメ、魔法少女シリアに瓜二つで、さらに魔女が現れ、襲い掛かってくる。血の契約を交わすことで、エロゲーを剣に変える力を手に入れ、撃退するが、巡回中のお巡りさんに捕まってしまう。罪名 幼女誘拐および強制わいせつで拘置所に送られることになった翼は、組織の一員になることを決意する。教会でスピカと再会した翼は、組織から依頼を受け。秋葉原に調査に行くことになる。焰も翼と同じように契約を結び、特殊な力を手に入れていた。スピカの力を借りることで、焰達を追い詰めていくが……スピカはカオスへと姿を変えてゆき、翼に襲い掛かってくる。スピカを護れなかったことを悔んでいる時に、白山が現れ、翼にエロゲーを渡され、それを剣に変えることで焰を追い詰めるが、止めを刺すことはできなかった。悩んでいるうちに状況は悪化していき。最終的にはカサンドラが止めを刺すことになる。そこに死んだはずの父一心とアイリスが現れ、焰達を連れていてしまう。残された翼はカサンドラからイヴのこと聞かされる。イヴとは翼が幼い頃に出会った、初恋の女性で、始まりの書を託してくれ人ですつと捜していた人物だ。カサンドラと別れた後、またアイリスが現れ、見せたいものがあるというのついていくと、スイセンを見せられた。夢を見た翼は、思い出の少女イヴを具現化させてしまう。シスターカレハから……イヴ誕生の真実を知り、強くなるために次の任務へと向かうのであった。

第1話

白いベッド上座りながら、窓の外を眺めている黒髪のサラサラロングヘアの女性は、ピンク患者衣姿でいる。壁は白く清潔感があり、たぶんここは病室だろう。ベッドの横に椅子を置いて座ったいる紺色のスーツをびしっと着た男性は、お見舞いに来た人だろう。随分と心配そうな顔をしながら、顎髭をなでている。

「あの鳥は、どこへ向かって飛んでいくのかしら？」

「俺達の手届かない、ずっとずっと遠くまでだろう」

「そうよね、空が続く限り、どこまでも……飛んでいけるわよね。」

もし、翼があれば——あの子を助けられたかもしれない。あの子の気持ちを少しはわかってあげられたかもしれない。でも、わたしにはどうすることもできなかった。だからこれは——罰ね」

「なぜ、キミが罰を受ける必要がある。この世界に、神なんてものが存在することじたいが間違っているだ。終わりをもたらす神なんて俺達は望んでいなかった。ただみんなが幸せに暮らせる世界を作るために——なんで……どうしてこうなってしまったんだ」

「お願い、彼女責めないで………一番悲しんでいるのは彼女だと思っから。鳥籠の中に閉じこめられた鳥でも、翼があれば大空を夢見ることができるけど——彼女もう、翼がないから——二度と飛ぶことはできないの？ 彼女は必死助けを求めている。彼女の悲しみ、苦しみが生み、世界をどんどん歪めていく——このままではとりかえしのつかないことになるわ。だから——」

「ああ、求めるものが形あるものとは、限らない。未来とか希望でもいいだ。曖昧で不確かで不完全なものかもしれない。だからってお前を一人を死なせるわけにはいかない」

「ああ、気持ち良い風……もし私が鳥だったら、間違はなく大空を自由に飛べ回っているわね。そうだ！ この子の名前は、翼にしよ——」
「うと思います、意味は可能性。あの鳥の自由に生きてほしいから。」

わたしみたいに何にも縛られてほしくないの。そして最後まで自分の意志を貫いて欲しいんです。あなたはそれでいいですか」

「ああ、俺も気に入った。だからあまり無理に力を使うな。俺が必ず運命を変えてやる。この子のためにもな。それに生きてさえいれば、大抵のことはどうにかなるものだ」

「やっぱり、あなたは優しいわ。でもこれは私にしかできないことだから……もう少しだけ、無理をさせてお願い」

「わかったよ、どうせ止めても聞かないんだろう。なら、好きにすればいいさ」

「ありがとう。もし私が死ぬことになっても、私が見たことは誰にも話さないでください」

「わかった、誰にも言わない。だけど忘れるわけじゃない。大丈夫、俺とお前の子だ！　どんな過酷な未来が待っているようと決して負けないさ、乗り越えて行ける強さを持っているはずだ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3035z/>

虚飾虚栄者は独よがりのうつけ者と契約しました

2011年12月10日19時50分発行